

# 令和4年度 学校関係者評価報告（専門学校 北九州看護大学校）

## 1 教育理念

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の理念・目的・人材育成像は定められているか	適切	ほぼ適切
学校における職業教育の特性は何か	ほぼ適切	
社会経済のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか	ほぼ適切	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	ほぼ適切	

### 【関係者評価】

教育理念に関する評価	評価項目	チェック欄	新カリキュラム移行後を機会にさらに教育理念等の浸透や将来構想についての議論が進んでいると思われる。概ね適切と思われる。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

## 2 学校運営 及び 重点目標

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切	ほぼ適切
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	ほぼ適切	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	ほぼ適切	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	適切	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	適切	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	適切	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	ほぼ適切	

### 【関係者評価】

学校運営及び重点目標に関する評価	評価項目	チェック欄	学校運営はほぼ適切に行われているが、業務改善としての効率・システム化については昨年を引き続いて、改善を進める必要がある。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

### 3 教育活動

#### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	ほぼ適切	ほぼ適切
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	ほぼ適切	
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	適切	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	ほぼ適切	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか	ほぼ適切	
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	ほぼ適切	
授業評価の実施・評価体制はあるか	ほぼ適切	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	ほぼ適切	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	ほぼ適切	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	ほぼ適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	ほぼ適切	
関連分野に関する業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するマネジメントが行われているか	ほぼ適切	
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	ほぼ適切	
教員の能力開発のための研修等が行われているか	ほぼ適切	

#### 【関係者評価】

教育活動に関する評価	評価項目	チェック欄	新カリキュラム移行期での混乱は否めないが、全般的に適切に教育活動は実施されていると評価できる。教員の知識・技能向上の研修等への時間をいかに作るかに課題を感じている。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

## 4 学修成果

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
就職率の向上が図られているか	適切	ほぼ適切
資格取得率の向上が図られているか	ほぼ適切	
退学率の低減が図られているか	ほぼ適切	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	ほぼ適切	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	ほぼ適切	

### 【関係者評価】

学修成果に関する評価	評価項目	チェック欄	学修成果全般は概ね適切に行われているが、学生個々の対応に苦慮している姿がみられるようになった。教職員全体で取り組む必要性を感じる。卒業生の活躍と活用、そしてサポートに注力しはじめたことは評価できる。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

## 5 学生支援

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	ほぼ適切	ほぼ適切
学生相談に関する体制は整備されているか	ほぼ適切	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	ほぼ適切	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	ほぼ適切	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	ほぼ適切	
学生の生活環境への支援は行われているか	ほぼ適切	
保護者と適切に連携しているか	ほぼ適切	
卒業生への支援体制はあるか	ほぼ適切	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	ほぼ適切	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	ほぼ適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	やや不適切	

### 【関係者評価】

学生支援に関する評価	評価項目	チェック欄	昨年に引き続き、学生支援について、学生の将来に向けて学生と教員の双方が納得できる教育環境を提供できる様にこれからも取り組んでいただきたい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

## 6 教育環境

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	ほぼ適切	ほぼ適切
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ適切	
防災に対する体制は整備されているか	ほぼ適切	

### 【関係者評価】

教育環境に関する評価	評価項目	チェック欄	学園系列施設の活用や実習施設の増加による環境改善がなされていることは評価できる。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

## 7 学生の受入・募集

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学生募集は適正に行われているか	適切	ほぼ適切
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	ほぼ適切	
学納金は妥当なものとなっているか	ほぼ適切	

### 【関係者評価】

学生の受入・募集に関する評価	評価項目	チェック欄	少子化による課題はあるが、適切に行われている。教員の積極的な学生募集も評価できる。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

## 8 財務

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ適切	適切
予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	適切	
財務について会計監査が適正に行われているか	適切	
財務情報公開の体制整備はできているか	適切	

### 【関係者評価】

財務に関する評価	評価項目	チェック欄	昨年に引き続いて、収入の面では今後受験者数増は望みにくく、大幅な増収は見込めない状況下である。学校の魅力向上を図り、いかに入学希望者にそれを伝えるかが重要。経費節減意識は深まり、努力を感じる。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

## 9 法令等の遵守

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適切	ほぼ適切
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	ほぼ適切	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	ほぼ適切	
自己評価結果を公開しているか	適切	

### 【関係者評価】

法令等の遵守に関する評価	評価項目	チェック欄	学校基準や準ずる法令は遵守できている。HPやSNSへの画像投稿は個々への配慮を引き続きお願いしたい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

## 10 社会貢献・地域貢献・リカレント教育

### 【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	やや不適切	やや不適切
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	適切	
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	やや不適切	

### 【関係者評価】

社会貢献・地域貢献・リカレント教育に関する評価	評価項目	チェック欄	コロナ禍後、ボランティア活動への関わりや実践は過渡期と思われる。引き続き議論と実践に取り組んで欲しい。
	適切		
	ほぼ適切		
	やや不適切	○	
	不適切		